

カヌースプリント

田辺CSCの選手 好成績

小林さん(高) 準優勝

日本カヌースプリントジュニア選手権大会(日本カヌー連盟主催)が17、22日、山梨県富士河口湖町であり、田辺カヌースプリントクラブ(CSC)の選手が好成績を収めた。女子カナディアンシングル(WC1)で小林実央さん(神島高校2年)が準優勝、女子カヤックペア(WK2)で栗原萌衣さん(神島高3年)と尾崎由依さん(田辺高1年)の組が3位に入賞した。

大会には全国から381人が参加した。田辺CSCからは、中高生の男女がいずれの種目も500名のコースに出場した。WC1には8人が出場し、小林さんは2分34秒を記録してトップと2秒差の2位だった。WK2には34組が出場し、栗原・尾崎組は予選

と準決勝を勝ち進み、決勝で2分2秒を記録してトップと3秒差の3位だった。

このほか11組が出場した男子カナディアンフォア(C4)では、田辺CSCの野久保翔万君(神島高2年)、船本佑哉君(同2年)、竹中光君(新庄中学校3年)、濱本子龍君(同2年)の組が6位に入賞した。

学年別の優秀選手(ベストナイン)には、男子カヤックシングル(K1)で富塚晴之君(田辺工業高2年)と岩瀬智哉君(新庄中2年)、男

子カナディアンシングル(C1)で竹中君と濱本君、女子カヤックシングル(WK1)で尾崎さん、WC1で小林さんがそれぞれ選ばれた。田辺CSCには神島高校、田辺高校、田辺工業高校の生徒や近隣の中学生が参加し、田辺市新庄町の文里港で一緒に練習している。

栗原さんは「尾崎さんと一緒に練習する期間は短かったけど、2人の息が合い、現地で調子が上がってきた。決勝ではラスト150メートルで追いついてメダルを獲得できたのでうれしい」と話した。



入賞した田辺カヌースプリントクラブのメンバー